

一 般 質 問

12月議会では、3名の議員が一般質問を行いました。



昭和54年に開設した海部美化センター

環境問題及び

衛生美化への取り組みは

一山 稔 議員

東日本大震災で、汚水や瓦礫が散乱し、その上放射能漏れなどで環境が汚染されましたが、私たちの日常生活でも環境汚染が起きているのではないかと思ひ、お伺いします。

一、焼却場から出る煙やダ
イオキシソ、排水や汚水の状況、検査の結果等は把握しているのか。
二、町内の不法投棄の現状とその対応はどうか。
三、老健施設や老人ホーム、病院、ショッピングセンターなど人の集まる場所、施

設から出る排水や検査状況の把握はどうか。

四、各家庭の浄化槽の検査や点検、清掃などの指導はどのようにしているのか。

五、学校や保育所、役場庁舎などの浄化槽の管理状況はどうか、検査点検や清掃は十分できているのか。

六、環境問題について、児童生徒にどのような学習や指導を行っているのか。

七、鬼ヶ岩屋の洗場の排水の検査、管理等はどうか。

八、今後の環境美化や公害対策への取り組みは。

町長

美化センターは、毎年分

析測定検査をしており、全て基準値を下回っています。役場、海の総合文化センター、学校、保育所、海部老人ホーム、鬼ヶ岩屋についても、年に一度法定検査と保守点検を年四回行っており、水質検査の結果は良好です。町有施設以外の排水については、県が指導を

しており、公害の発生がない限り、町は指導していません。家庭の浄化槽の維持

管理も県が指導しています。不法投棄は生活ごみや家電、廃タイヤ等があり、更なる不法投棄を呼ばないよう早期に処分するよう努め、看板を設置し、投棄者には適正に対応している。

今後の公害対策の取り組みは、町条例に基づき国、県と連携していきたい。

浄化槽設置補助金には、町の上乗せ分を継続したい。

教育長

環境教育の全体計画に基づいて、学習や活動が実践されています。

牟岐小では、千年サンゴを知り、自然環境を守り育てる学習をしている。

河内小では、緑の少年隊を結成し、一人一鉢栽培やごみゼロ作戦活動など展開されており、中学校は、海岸清掃やアイラブ牟岐など環境美化活動に取り組んでいる。今後環境教育の一層の充実を図っていきたい。

住民福祉課長

一、焼却場から出る煙、排水や汚水状況は、年一回か